

松江市 報道提供資料

令和5年11月24日

件名

世界遺産講演会の開催について

内容

「姫路城」と「法隆寺地域の仏教建造物」が日本で初めて世界文化遺産に登録されてから30年となる今年、国宝五城からなる「近世城郭の天守群」の世界文化遺産登録に向けた機運醸成を図るため、長らく日本の世界文化遺産の登録に向け第一線で活躍されてきた専門家を招いて講演会を開催します。

◇とき 令和5年12月3日(日)

10時30分～12時00分(10時受付開始)

◇ところ 松江市市民活動センター 5階交流ホール (松江市白潟本町43 STICビル)

◇講師 西村幸夫(國學院大學観光まちづくり学部長、日本イコモス国内委員会顧問)

◇演題 世界文化遺産のこれまでとこれから

【問い合わせ】

松江市文化スポーツ部 松江城・史料調査課

担当：木下 電話：0852-55-5959

世界遺産講演会

「世界文化遺産のこれまでとこれから」

今年の2023年は「法隆寺地域の仏教建造物」と「姫路城」が日本ではじめて世界文化遺産に登録されてから30年の節目にあたります。

人類全体のための世界の遺産として損傷、破壊等の脅威から保護し保存するため、1972年にユネスコの締約国会議で世界遺産条約が採択されてから50年が経過しました。2023年10月現在で世界文化遺産は933件に上り、そのうち日本からは20件が登録されている中、松江市は松江城を含む国宝五城の天守を「近世城郭の天守群」として世界文化遺産に登録することを目指しています。

本講演会では、長らく日本の世界文化遺産の登録に向け第一線で活躍されてきた専門家に、世界文化遺産のこれまでとこれからについてお話いただきます。

講師 西村 幸夫 氏



【講師紹介】

國學院大學観光まちづくり学部長

東京大学名誉教授

日本イコモス国内委員会顧問

専門：都市計画

主な著書

『世界文化遺産の思想』（共著、東大出版会）

『世界遺産の五〇年 文化の多様性と日本の役割』
（共著、ブックエンド）

日時 令和5年12月3日（日）10:30～12:00（開場10:00）

会場 松江市市民活動センター（スティックビル）5階 交流ホール

定員 150名

料金 無料

●申込方法 電話、メールまたはFAXで
（氏名、住所、電話番号、メールアドレスまたはFAX番号を明記）

●申込／問い合わせ 松江市文化スポーツ部 松江城・史料調査課

電話：0852-55-5959

FAX：0852-55-5495

E-mail：matsuejou@city.matsue.lg.jp

主催：松江市／共催：松江城を守る会